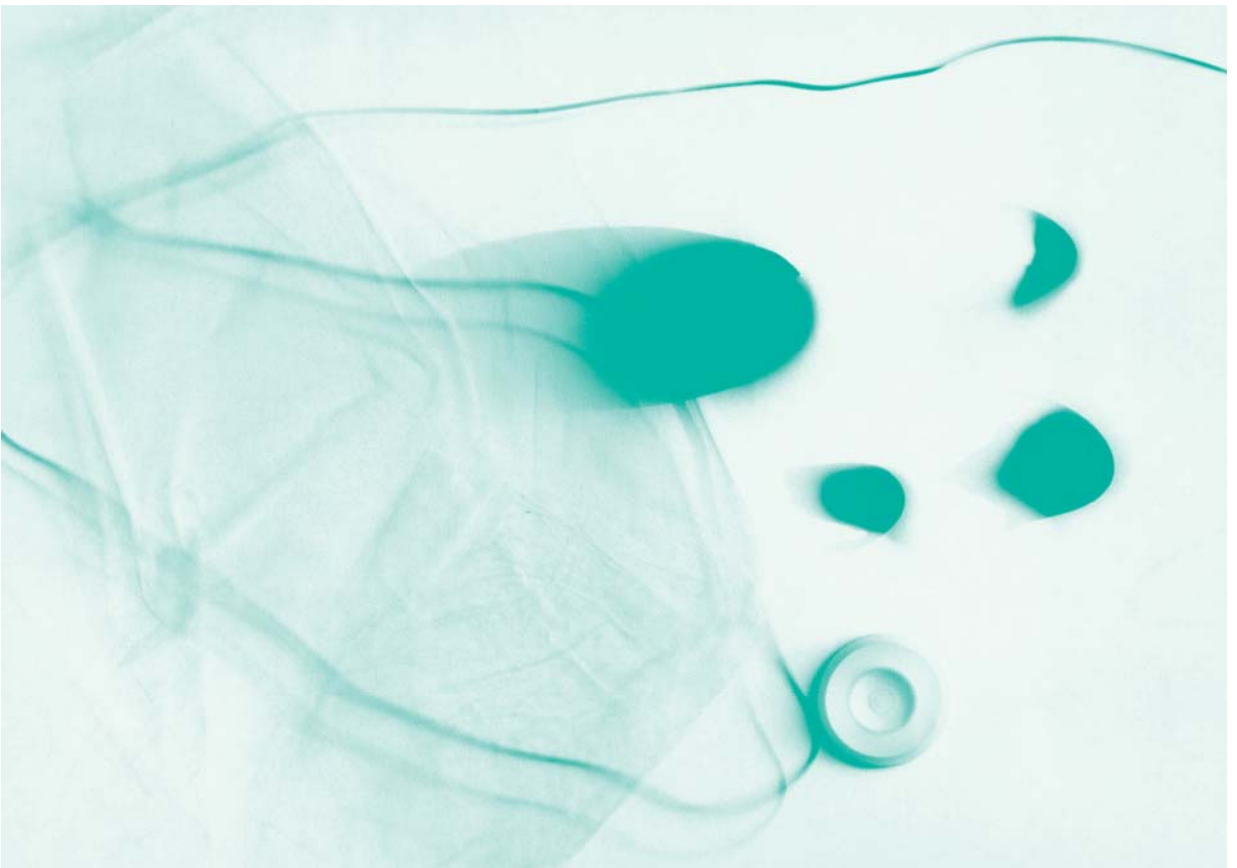


# Parlando

ぱるらんど 「語りかけるように歌う」という意味の楽想記号です

255



## Contents

---

- ライブ録音の醍醐味…今村央子●1
- ピープル・ぴーぶる ㉗ ヨアヒムとヴァイオリン協奏曲…伊藤陽子●2
- In my library こんなの見つけた ㉘ ブルー・アイランド氏的なワールドへようこそ…曾根雅俊●5
- 平成19～20年度 図書館委員のご紹介…●6
- 「国立音楽大学附属図書館所蔵 貴重書解題目録」刊行される…●8
- 館長室の窓から ① 異文化の理解…佐藤真一●9
- Parlando ぱるらんのあゆみ⑤ ガクフ がくふ 楽譜……いろいろ…●9
- Library Data 2006…●10
- 楽譜／ビデオテープ…今井このみ・山栄理子●14
- ウェブサイト紹介 米国議会図書館資料で知る賛歌《アメイジング・グレイス》…●15
- Information…●16

# ライヴ録音の醍醐味

今村 央子

私は20代の後半をパリに暮らした。パリという街は、ヨーロッパ文化の交差点のような場所である。さまざまな国から超一流の音楽家が集まってきて、毎晩のようにコンサートを行っている。当時、とにかくがむしゃらに音楽に打ち込んでいた私にとって、素晴らしいコンサートを聴くことは、非常にエキサイティングな出会いであり、一流の演奏家の「音楽の真髄」に触れることで、次第に自らが目指す方向をも見つけていったような気がする。今となっては一つ一つのコンサート、そこで演奏された曲に、その時の思い出が重なって、とてもなつかしい。

さて、今日は私が聴いたコンサートの中でも、もつとも寒いコンサートの体験を話そうと思う。

ある冬の日、パリ中心部の教会で、バッハの《クリスマス・オラトリオ》を、トン・コープマン指揮、アムステルダム・バロック・オーケストラの演奏で聴きに行くはずだったが、めずらしく雪が降り、その上パリ名物のストで電車が止まってしまった。結局、徒歩で約2時間かけて教会に辿り着いたのだが、その時にはまだ十分に余力が残っていると自信たっぷりの私であった。

しかし、コンサートが始まってみると、石造りのかなり大きな教会の内部は、暖房もなく恐ろしく寒い。なんと、演奏者も皆色とりどりの防寒コートを着たままである。そんな中でも、コープマンはいつもと変わらず楽しそうにチェンバロを弾きながら指揮をしていて、それがなんだか妙に可笑しい。私も最初は、「この寒さでピッチは大丈夫かな」とか「指がかじかまないかしら」などと演奏者の心配まです

る余裕があった。しかし、次第に石の床から迫ってくるんしんとした寒さに、雪道を歩いた疲れが加わって、だんだん眠気を催してきた。そして、大好きなはずの《クリスマス・オラトリオ》が、遠のく意識と必死で戦うだけの苦行と化してきた。こういう時は1分が永遠に感じられる程、時の経つのがのろい。何とか前半終了まで持ちこたえたものの、コンサートを途中で断念、とにかく暖かい物を飲みたい一心で、会場から出ることにした。席を立つ私に、フランス人の婦人が平然とひとこと。「あら、まだコンサートは半分よ。これは休憩ですよ。」

こんな体験もあるからか、CDを聴く時もライヴ録音が好きだ。ライヴ録音の醍醐味はやはり、自分がそのコンサート会場にいるかのような臨場感であろう。あの独特の熱気には、スタジオ録音にはない高揚感とエネルギーがみなぎっていて、こちらもいや応なく想像力を掻き立てられる。時々、熱中すぎて曲が崩壊しそうになりながらも何とか持ちこたえる演奏や、小さなハプニングが起こっている演奏もあり、それもまた一興である。

今は亡きカルロス・クライバーがバイエルン国立管弦楽団を指揮しているベートーヴェン《交響曲第7番》のCDは、数あるライヴ録音の中でも、何度聴いても鳥肌が立つ一枚である。その場に立ち会えなかった人にも、一度きりのそのコンサートがいかに熱狂的かつ感動的だったかが存分に伝わってくる、とびきりの一枚だ。

## Joseph Joachim (1831 ~ 1907)



# ヨアヒムと ヴァイオリン協奏曲

伊藤 陽子

今年、ヨーゼフ・ヨアヒム没後一〇〇年にあたる。現在では主にベートーヴェン、ブラームス等のヴァイオリン協奏曲カデンツァの作者として知られるが、19世紀後半、ヨアヒムはヨーロッパで最も偉大な演奏家（ヴァイオリニスト・指揮者）、作曲家、教育者として絶大な人気を博していた。

幼い頃から神童ヴァイオリニストの誉れ高いヨアヒムは、1869年、ヨアヒム四重奏団を結成して以降、独奏者、指揮者としてだけでなく、室内楽演奏のヴァイオリニストとしてヨーロッパ各地を廻り、ヴァイオリン演奏史に大きな足跡を残した。

しかしそれ以上に重要なのは、音楽文化全体に及ぼした影響だろう。1869年、ベルリン高等音楽学校初代校長に就任し、ヴァイオリン教育の大御所として数多くの演奏家を育てるとともに、創設間もないベルリン・フィルハーモニーを卓抜なアイディアで財政支援し、この楽団が今日の地位を築くことに貢献した。そして何より、ブラームスははじめ、メンデルスゾーン、シューマン、リスト、ブルッフ、ドヴォルザーク等、多くの作曲家たちと生涯にわたって深い交流を続け、そこから数多くの音楽作品が生まれた。

ヨアヒムの生涯と活動全般にっ

いては、今月の図書館テーマ展示を見ていただきたい。ここではヨアヒムがかかわった七つのヴァイオリン協奏曲について紹介しよう。

### ベートーヴェン《ヴァイオリン

協奏曲 作品61 二長調

13歳の誕生日を間近に控えた少年ヨアヒムは、1841年5月27日、ロンドンのフィルハーモニック・ソサエティーでこの曲を演奏して圧倒的成功を収めた。指揮したのはメンデルスゾーン。この曲は、1806年ウィーンで初演された時それほど評判を呼ばず、以来40年近くの間、数えるほどしか演奏されていなかった。ベートーヴェンのヴァイオリン協奏曲は、ヨアヒムの演奏によって復活し、現在ヴァイオリニストの最も重要なレパートリーの一つとして演奏され続けている。

### メンデルスゾーン《ヴァイオリン

協奏曲 作品64 ホ短調

メンデルスゾーンのヴァイオリン協奏曲は、1845年3月13日、ライプツィヒでフェルディナント・ダーフィットにより初演された（ニルス・ゲーゼ指揮、ゲヴァントハウス管弦楽団）。ベートーヴェンの協奏曲と違って、こちらは最初から絶賛され、傑作の名をほし

の下で学んでいたヨアヒムは、早くからこの曲に親しんだ。後にヨアヒムは「16歳の時、幸運にも作曲家自身のピアノ伴奏で何度も演奏する機会があり、作曲者の考えをごく身近で知ることができた。メンデルスゾーンは時々、私の演奏にチェックを入れてくれた」と書いている。

### ブルッフ《ヴァイオリン協奏曲

第1番 作品26 卜短調

ブルッフは1番から3番までヴァイオリン協奏曲を書き、1番と3番をヨアヒムに、2番をサラサーテに献呈した。最も有名な1番は1866年に完成し、同年4月24日、オットー・ケーニフィスレーヴの独奏、ブルッフ自身の指揮で初演された。この演奏に満足できなかったブルッフは改訂にとりかかり、ヨアヒムに手稿を送って意見を求めた。ヨアヒムは多くの譜例を付けた長い手紙（1866年8月17日）を書いてこれに答えている。ブルッフはヨアヒムの対応に深く感謝したが、1912年にヨアヒム書簡集が出版される際、自分が書いた返信（9月26日）の公開を強く拒んだ。「この手紙を読んだ読者は、この協奏曲は私でなく、ヨアヒムが作曲したと誤解するだろう。」とブルッフ

フは編集者に書き送っている。「細かい箇所について、私は彼の提案をありがたく受けとめ一部を使った。しかし一部に過ぎない」

作品は1867年10月、ヨアヒム独奏で再演され、翌68年出版に際してヨアヒムに献呈された。

## ブラームス《ヴァイオリン

### 協奏曲 作品77 一長調》

ブラームスはヴァイオリン協奏曲を1878年7月頃書き始め、8月21日には第一楽章の独奏ヴァイオリン・パートをヨアヒムに送って、批評を求めている。この作品をめぐってブラームスとヨアヒムが交わした緊密なやりとりが書簡集に残されており、ブラームスの自筆譜に、ヨアヒムは力をこめた筆致で書き込みを入れている（フアクシミル版を展示）。1879年1月1日、ライプツィヒでブラームス指揮、ゲヴァントハウス管弦楽団、ヨアヒム独奏により初演され、14日にウィーン、翌2月にはロンドンでもヨアヒムのソロで演奏された。楽譜出版は同年秋で、ヨアヒムに献呈されている。この曲は現在、ベートーヴェン、メンデルスゾーンと並んで三大ヴァイオリン協奏曲の一つに数えられているが、発表当時は厳しい批判にさらされた。

## ブラームス《ヴァイオリンと

### チェロのための二重協奏曲

#### 作品102 一短調》

ヨアヒムとブラームスの交友は終生続いたが、1880年代、一時的に気まぎれなことがあ

る。それは、ヨアヒムが妻アマールリエと出版者、フリッツ・ジムロックの仲を嫉妬して離婚に至った際、ブラームスがアマールリエを弁護する側についたためと言われている。しかし、ブラームスの音楽に対するヨアヒムの評価が変わることはなかった。ブラームスもまたヨアヒムとの関係改善を願い、当初5番目の交響曲として構想していた音楽をヴァイオリンとチェロの二重協奏曲として完成させた。1887年9月21、22日、クララ・シューマン宅でヨアヒム（ヴァイオリン）、ロベルト・ハウスマン（チェロ）、ブラームス（ピアノ）により私的初演。同じソリストによる公開初演（指揮ブラームス）は1887年10月15日、ケルンで行われた。楽譜は当然ヨアヒムに献呈された。ヨアヒムはヴァイオリン協奏曲よりこちらを好んだと言われる。

ヨアヒムに献呈された曲は他にも多いが、献呈されなかった作品が二つある。ドヴォルザークとシュー

マンのヴァイオリン協奏曲である。

## ドヴォルザーク《ヴァイオリン

### 協奏曲 作品53 一短調》

ドヴォルザークの室内楽を初演して彼を高く評価したヨアヒムは、ヴァイオリン協奏曲の作曲を依頼する。1879年7月、ドヴォルザークは作曲に専念し、9月には第一稿をヨアヒムに送る。翌年5月、ヨアヒムの提案に従って第二稿を完成させた後、さらに1882年、大幅な改訂が為され、11月にはヨアヒムのヴァイオリン演奏によりベルリンでリハーサルが行われた。しかし、なぜかその本番はなかった。

この曲の初演は、1883年10月14日、チェコのヴァイオリニスト、オンドジーク・チェクによりプラハで行われた。同年12月にはウィーン・フィルハーモニーもこれを演奏したが、ヨアヒムがこの作品を演奏することは一度もなかった。

## シューマン《ヴァイオリン

### 協奏曲 二短調 遺作》

この協奏曲は、本来なら1853年にヨアヒム独奏、シューマン指揮で初演されるはずだったが、しかしオーケストラの準備が不十分だったこと、シューマンの病気が悪化したことが原因で、この

初演は実現しなかった。シューマンの死後、クララ・シューマンとヨアヒムは、この曲には病氣からくる翳りが出ていて聴衆を満足させるものではないと判断した。クララはシューマンの自筆譜をヨアヒムに託し、ヨアヒムの死後、その楽譜はプロイセン国立図書館に預けられた。ヨアヒムの遺言には「この協奏曲は作曲家の死後、一〇〇年を経てはじめて上演を許可する」と書かれていた。この作品が初演されたのは、作曲されたから実に84年後の1937年11月26日のことである。ヨアヒムの遠縁にあたるヴァイオリニスト、イェリー・アラニ（1893〜1966）が心霊術の力を借りてこの楽譜を探し当てた話も興味深い。これはまた別の機会に譲ろう。

現在、庄司紗矢香の弾くストラディヴァリウスは、ヨアヒムが所有していた1715年製ストラディヴァリウス五挺のうちのひとつで、「ヨアヒム」と命名されている。イェリー・アラニの姉、アデラ・アラニ（1868〜1962）に遺贈されたため「ヨアヒムIIアラニ」とも呼ばれる。

● いろいろ 2005年11月、さいたま芸術劇場で庄司紗矢香のリサイタル（シヨスタコーヴィチ ソナタ他）を聴いた。次は協奏曲を聴いてみたい。

## ヨアヒム年譜

1827		ベートーヴェン没
1831	誕生 (6月28日 ハンガリー キットゼー)	
1833	一家 ベスト (現ブダベスト) へ移る	ブラームス誕生
1838		ブルッフ誕生
1839	ブダベストでデビュー ウィーンへ移る	
1841	ウィーンでヨーゼフ・ベームに師事	ドヴォルザーク誕生
1843	ライプツィヒでメンデルスゾーンに会う ライプツィヒ音楽院創設	
1844	ロンドンでベートーヴェン「ヴァイオリン協奏曲」を演奏 メンデルスゾーン「ヴァイオリン協奏曲」作曲	
1847		メンデルスゾーン没
1848	「アンダンティーノとアレグロ・スケルツォ作品1」作曲	マルクス「共産党宣言」
1850	リストに招かれ ワイマル宮廷オーケストラのコンサートマスター就任	
1853	ゲオルグ5世に招かれ ハノーヴァーへ移る ブラームスに会う この頃ゲッティンゲン大学で学ぶ シューマン「ヴァイオリン協奏曲」作曲	
1854	シューマンの「交響曲第4番」を指揮	
1856		クリミア戦争終わる シューマン没
1857	ロンドン・ボビュラーコンサート始まる 「ハンガリー協奏曲」完成	
1859	ブラームスの「ピアノ協奏曲」初演で指揮 (ピアノ=ブラームス)	
1861	ウィーンで18年ぶりの演奏会	南北戦争はじまる (米)
1863	アマーリエ・ヴァイスと結婚 L. アウアーがヨアヒムに師事	
1864	第1子 ヨハネス誕生	
1866	ブルッフ「ヴァイオリン協奏曲第1番ト短調」作曲 第2子 ヘルマン誕生	プロシャ・オーストリア戦争
1868	ベルリンへ移る 第3子 マリー誕生	明治維新 (日本)
1869	ベルリン高等音楽学校初代校長就任 第4子 ヨーゼフ誕生 ヨアヒム四重奏団結成	
1870		プロシャ・フランス戦争 イタリア統一
1871	フバイがヨアヒムに師事	ドイツ帝国成立
1877	ケンブリッジ大学より音楽名誉博士号授与 第5子 ハウル誕生	
1878	ブラームス「ヴァイオリン協奏曲」作曲	
1879	ブラームスの「ヴァイオリン協奏曲」初演	
1880	ドヴォルザーク「ヴァイオリン協奏曲」第2校完成	
1881	第6子 エリザベート誕生	
1882	ベルリン・フィルハーモニー創設	
1884	アマーリエと離婚	
1887	グラスゴー大学より名誉文学博士号授与 ブラームス「ヴァイオリンとチェロ二重協奏曲」作曲	
1888	オックスフォード大学より名誉音楽博士号授与	
1889	ベルリンで「デビュー 50周年記念式典」	エッフェル塔建設
1891	ブルッフの「ヴァイオリン協奏曲第3番 二短調」初演	
1897		ブラームス没
1898	モーザー「ヨーゼフ・ヨアヒム」を出版	
1899	ベルリンで「デビュー 60周年記念式典」	
1902	ヨアヒム=モーザー「ヴァイオリン教本」第1巻	ヴィクトリア女王没 (英)
1904	イギリスで「ヨアヒム・英国デビュー 60周年記念式典」	ドヴォルザーク没 日露戦争
1907	没 (8月15日 ベルリン)	
1908	モーザー「ヨーゼフ・ヨアヒム 第2版」を出版	
1912	「ヨーゼフ・ヨアヒム書簡集」第1巻出版	

# ブルー・アイランド氏的なワールドへようこそ

曾根 雅俊



ブルー・アイランド氏こと青島広志氏は、作曲家としてデビューされましたが、近年はテレビにも出演され、その独特な風貌と話し方は、視聴者の皆さんに強烈なインパクトを与えていらつしやいます。テレビ出演や作曲以外にも執筆活動や、最近ではオペラの演出にも手を広げられています。そんなブルー・アイランド氏の最近の活躍をいくつか紹介させていただきます。

氏の演出によるオペラは、ブルー・アイランド版歌劇として東京室内歌劇場主催で上演され、一昨年の「魔笛」では、舞台を音楽学校に設定し、昼間部（校長ザラストロ）と夜間部（校長夜の女王）の対立に筋を置き換えて上演されました。昨年の「フィガロの結婚」では、舞台設定を老舗の和菓子屋「有馬庵」として、社長有馬美

馬夫婦と、使用人笛五郎と須佐杏奈の結婚をめぐる物語として上演されました。これらの台本は氏自身が書き直し、「フィガロの結婚」では、謎の中国人作曲家「ブルー・アイランド・チンタオ」として出演もされました。オペラ作曲家としても知られる氏の最近の著作に『オペラ作曲家によるゆかいでヘンなオペラ超入門』という本があります。この本では、よく知られたオペラについてもより判りやすく解説するとともに氏の独特のコメントがつけられ、日本人作曲家によるオペラにまで言及されています。

氏が演出するオペラのチラシには、氏自身が描いた絵が使われています。少女漫画家にあこがれていた氏の、漫画の腕をふるって描かれたのが『音楽名曲絵画館』です。この本は副題にあるとおり「ブルー・アイランド氏のピアノ名曲の旅」で、ルネサンスから現代に至るピアノのために書かれた曲を題材とした絵（漫画）をメインとして、それらの曲についてのコメントがつけられています。元々月刊『シヨパン』に掲載されていた物に書き下ろしを追加し出版された本です。

ここで目線を変えて、合唱曲の作曲や歌曲などの合唱編曲でも知られる氏が、合唱について書いた本を紹介しましょう。題して『はじめよう！合唱』。「あなたにそつと教える発声から指揮まで」として発声からソルフエージュ、指揮や表現、実際の楽譜による演奏の手引きなど、事細かく書かれています。合唱をやってみようと思う人、やっている人、合唱を指導している人にも役立つ本です。この本は、くにたちの卒業生でもある安藤應次郎氏の協力できています。

それでは最新作を紹介しましょう。

う。題して『青島広志でございませう』。この本は、読売日本交響楽団の『月刊オーケストラ』に「ステレオ〈楽壇〉トーク」として掲載された文章に、他の雑誌に掲載されたエッセイ？を加え、さらに二期会オペラ振興会公演プログラムに掲載された解説、それらに大量の絵やカットを加えてつくられています。『月刊オーケストラ』は、図書館で所蔵していますが、この本ではイラストが追加されるなど、より一層ブルー・アイランド氏的ななっています。

ここでは取り上げませんでした。が、まだ他にも氏らしい本がたくさんありますので、OPACで検索し探してみてください。但し、「ブルー・アイランド」ではなく、「青島広志」で。

### 資料リスト

- ▼『オペラ作曲家によるゆかいでヘンなオペラ超入門』（講談社）（請求記号 J105.516）
- ▼『音楽名曲絵画館』（シヨパン）（請求記号 J109.080）
- ▼『はじめよう！合唱』（全音楽譜出版社）（請求記号 J107.234）
- ▼『青島広志でございませう』（学習研究社）（請求記号 J110.746）

●そね まさとし ブルー・アイランド氏と知り合ってから二十年以上、マイペースな割には人に気を使う、あなたは本当に不思議な人ですね。

## ◆ 酒井美恵子

1. 教職科目を担当しています。
2. 作曲家は、Claude Debussyが好きです。画家ではFernand Khnopffに惹かれます。
3. 『風姿花伝』  
能を授業で取り扱うにあたり能楽師の方からお話をうかがったり、DVDで語るところを見たりする中で、まるでくそばにいる人のように世阿弥のことを語っていることが読み直すきっかけでした。  
600年以上前の書ですが、音楽大学に学ぶ学生は、必ず何か考えたり、感じ取ったりすることに出会えると思い推薦します。
4. 別世界への入り口であり、ほんの少し違う自分になって出てくる出口でもあります。

## ◆ 末松淑美

1. ドイツ語学、意味論。現在は、話法の助動詞で表現される、話者の視点や価値観を研究テーマにしています。言葉を通して見えてくる異文化のものの方の見方や発想に興味を持っています。
2. ピアニストだった頃のアシュケナージが弾くショパン。ヨー・ヨー・マが演奏するバッハの無伴奏チェロ組曲。倉本裕基のピアノ作品。
3. 関口一郎著『学ぶ』から『使う』外国語へ(集英社新書)  
ドイツ語教員だった著者の体験談です。外国語を学ぶ人、教える人両方にとってのヒントが満載です。言葉は、ただ知識として持っているだけではもったいない。味も香りも楽しんで、異文化に育った人々とつながってこそ、本当に楽しいものです。学生の皆さんに、ぜひ2つ目、3つ目の外国語を学び、自分の世界を広げてほしいと願っています。
4. 一般の図書館は、小説や雑誌など「ちょっと読んでみたいもの」を借りに行く場所です。もともと雑誌の癖があるので、「時間があるから何か借りようかな」というときもあります。けれども、話題の小説などは25人待ちで、待ちきれずに買ってしまったこともあります。一方、国立音大の図書館は私にとってまったく別の場所です。仕事の調べものをしたり、言語学関係の文献を図書館経由で他大学から貸していただいたりします。絶版の書籍を読めたときには、たいへん感謝しました。図書館委員になったことを機に、これからはもう少しCDを借りて聴いてみようと思います。

## ◆ 友利修

1. 西洋音楽史(19世紀、とくにロマン主義を中心とした社会史と新しい音楽分析の視点ににもとづく音楽形式論)
2. ベートーヴェン、メンデルスゾーン、シューマン、リスト、ショパン、ドビュッシー、ベルク、クルト・ヴァイル、レオナード・バーンスタイン、ミシェル・ルグラン
3. レナード・バーンスタイン『答えない質問:1973年ハーバード大学での講座と実演』(請求記号●VE1241/-1246)
4. 私の知的好奇心にもっともよく答えてくれる物と人の集まり

## ◆ 藤井喬梓

1. 音楽理論、作曲
2. A.ブルックナー、片山敏彦、R.シュタイナー
3. ブルックナー(交響曲第9番)、C.シューリヒト指揮、ウィーン・フィル  
宇宙的な壮大さ、高い精神的な世界を予感させるところ。
4. 「宝の山」です。

## ◆ トーマス・マイヤー・フィービツヒ

1. 作曲・オルガン
2. 作曲家: Buxtehude, Bach, Mozart, Schubert, Schumann, Liszt, Franck, Brahms, Rheinberger, Widor, Elgar, Vierne, Reger, Karg-Elert, Bartok, Webern, Berg, Dupré, Ives, Honegger, Hindemith, Poulenc, Hartmann, Shostakovich, Langlais, Alain, Britten, B.A. Zimmermann, Klebe, Henze, Helmschrott 等  
演奏家: Michael Schneider (オルガン)、Wolfgang Sawallisch (指揮・ピアノ)、Dietrich Fischer-Dieskau (声楽) 等  
文学者: Georg Trakl, Heinrich Böll, Christine Brückner, Siegfried Lenz 等  
画家: Albrecht Dürer, Matthias Grünewald, Caspar David Friedrich, Lyonel Feininger, 東山魁夷, 小泉守邦 等
3. Marcel Dupré improvisiert an der Orgel im Hohen Dom zu Köln Psallite CD60011  
Dupréは近代フランスオルガン音楽の重要な要です。  
オルガニスト、音楽家の家に生まれ、Guilmant, Widor, Vierneといった後期ロマン派のそうそうたる人物から薫陶を受け、若い頃からバッハの全オルガン作品を暗譜で演奏したコンサートシリーズで注目を浴び、作曲家としてもローマ賞を受賞しました。  
その後、パリ国立音楽院の教授としてMessiaen, Langlais, Litaize, M.-Cl- Alain, Demessieux, を始めとする数多くの後進の指導にあたるとともに、自身も作曲家、演奏家、教育家として活動を続けていました。  
Dupréの弟子たちが芸術家としていかに個性的な発展をしていったかを見れば、人格者としてのDupréの存在も一目瞭然です。  
このCDにはオルガン演奏芸術の一つである即興演奏が収められています。1961年にケルンの大聖堂での即興コンサートのライブ収録です。  
近代最高峰のオルガニストがその熟成しきった時期に、作曲というかたちではなく、その場で生じる即興という形でどのような素晴らしい芸術を生み出すことができるのか、学生のみなさんにも知っていただきたく思います。
4. 図書館は知識と知恵の宝庫です。  
現在の私たちが今ここに在りえる歴史に出会い、「知る」ことができます。  
音楽大学の図書館には特に、ただ単なる経緯としての歴史ではなく、先人たちの精神、魂、心の記録が詰まっています。  
これらを知ることとは、私たちがどこから来たのかを知ることであり、これを知らなければ、どこへ行きたいのか、どうなりたいのか、どうで在りたいのか、を自分自身で知ること難しいでしょう。  
国立音楽大学の図書館は蔵書数、蔵書点ともに世界的なレベルから見ても類い稀な優秀さを誇る図書館です。このような図書館が身近にあり、いつも使用できるということは、私にとって非常に幸せなことでもあります。

# 平成19～20年度 図書館委員のご紹介

図書館委員会は、さまざまなお専門の先生方で構成される図書館運営に関する諮問機関です。検討していただく内容は、図書館の運営方針、予算・決算、図書・資料の選定・購入に関することなどで、任期は2年です。

平成19～20年度の図書館委員は、以下の11名の先生方に決まりました（敬称略 五十音順）。

一ノ瀬俊和 江崎公子 大友太郎 小川哲生 加藤一郎 酒井美恵子 末松淑美 友利修 藤井喬梓 トーマス・マイヤー＝フィービッヒ 磯山雅（特別委員：任期1年）

先生方にアンケートにお答えいただきました。

## 質問項目

1. ご専門をお教え下さい。
2. お好きな芸術家(作曲家、文学者、画家、演奏家など)をお教え下さい。
3. 本学学生に薦めたい図書、CD、映像資料を1点挙げて下さい。当館の所蔵資料でなくてもかまいません。また、その資料を推薦される理由は何ですか？
4. 図書館とは、先生にとってどのような場所ですか？

◆ 一ノ瀬俊和

1. イタリア語学、イタリア語教授法、イタリア史
2. シモーネ・マルティナーニ
3. 『ニュー・シネマ・パラダイス』(DVD, ビデオ)  
家族や友情を大切に、ホスピタリティーに富んだイタリア人のメンタリティーがよく理解できる名作映画だから。
4. 残念ながら現在はそうなっていませんが、「暇なときにフラツと行って、参考図書室で専門以外の本を眺めたり、ゆったりとCDを聴いたりする場所」にしたいと強く思っています。

◆ 江崎公子

1. 教育史・音楽教育史。1860年～1960年間の教育の変化と人の変化を対象としています。
2. フラームスの弦楽が好きです（フラームスの人となりはあまり好きな方ではないです）。
3. 『声の文化と文字の文化』W-J.オング著 林正寛・糟谷啓介訳 藤原書店 1999年5月 9版  
声によって伝承されてきた文化の質と活字で示される文化の質の違いを気付かせてくれた本でした。  
『ハンブルクの成立と歴史—訓民正音はどう作られたか』姜信沆著 梅田博之訳 大修館書店 1993年  
アルファベットの中で音高変化を示すというすばらしい成果がどのように作られたかを知った驚きの本でした。
4. 「居心地のよい場所」。特に国立の図書館がすばらしいのは資・史料と閲覧希望者を仲立ちして下さる人々のセンスのよさです。「そうそう これなのよ」という出会いを、図書館員を通して何度も味わいました。まさに「ウフフ」とうれくなる場所なのです。

◆ 大友太郎

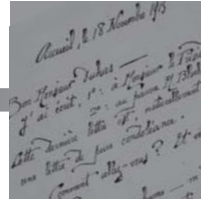
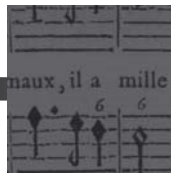
1. フルート
2. やはりリヒテルでしょうか
3. スヴァトスラフ・リヒテルのJ.S.バッハ作曲《平均律クラヴィーア曲集》全巻のCD  
文句なしに面白い。何百回聴いても楽しい。
4. 物事に集中できる場所。

◆ 小川哲生

1. 声楽（声種 バリトン）ドイツリートを中心に
2. W.A.モーツァルト、F. シューベルト、J.W.v.ゲーテ、J.F.v. アイヒェンドルフ
3. 小塩節著『愛の詩人ゲーテ ヨーロッパ的知性の再発見（NHKライブラリー）』  
これはドイツの文豪ゲーテの生誕250年にあたる1999年、NHKの番組「人間大学」で筆者が使用したテキストを再編したもので、「すみれ」「野ばら」「魔王」などで知られる詩人・文学者ゲーテが自然科学や政治、音楽、演劇等、多岐にわたりその才能を開花させた偉大なる天才の業績を知る上で最適な入門書である。
4. 求める資料がほとんど揃っている、とても頼りになる知恵袋です。

◆ 加藤一郎

1. 私の専門はピアノです。
2. 私が好きな作曲家はショパン、ベートーヴェン、ラフマニノフなどです。
3. 学生に薦めたいCDは『ラフマニノフ大全集』（請求記号●XD18846/-18855）です。  
私はある曲を演奏する際、その作曲家自身の演奏が残されている場合は、それが一番参考になると考えています。勿論、楽譜を注意深く見ることは大切ですが、作曲家自身の演奏には彼らの魂が宿っているし、彼らが求めているものが脈々と伝わってくるからです。特に作曲家が大演奏家であった場合はとても敵わないと思うことが殆どです。ラフマニノフ大全集は演奏家としてのラフマニノフの集大成と言っても良く、ピアニストとしてのみならず、指揮者ラフマニノフの雄大な演奏も聴くことが出来ます。クライスラーとのグリーグのヴァイオリンソナタの二重奏も素晴らしいですが、何といてもピアノ協奏曲第3番は圧巻です。彼の息遣い、当時のピアノの響き、オケの響きがそのまま伝わってきます。私は学生時代に古いLP版でこの演奏を聴いて心を打たれ、直ちに楽譜を買い求めて練習し、どうしたらこんなに素晴らしく弾けるのかと頭を掻き悩んだ覚えがあります。  
しかし暫らくして、ラフマニノフの演奏を真似しようとする自分に情けなくなりました。その時、幾つかのパッケージは彼と殆ど変わりなく弾けるようになってはいたのですが、どんな人にも本当にその人にしかできない演奏があるということを感じたのもその時でした。学生の皆さん、模索を経て、あなた自身の演奏を見出して頂きたいと思います。
4. 私にとって図書館は「知と芸術の宝庫」です。



# 「国立音楽大学附属図書館所蔵 貴重書解題目録」が刊行される



創立80周年記念出版の一環として『国立音楽大学附属図書館所蔵貴重書解題目録』が刊行されました。つまり「希少で、古く、高価な資料」の中からいくつかを選んで平易な解説を施した写真入りの冊子です。ずっと図書館の中で静かに眠っていた知られざる資料群を知ってもらおうという願いを込めて小冊子を作りました。音楽史の授業で聞いたことがありませんか？羊皮紙に書かれたネウマ譜のことを、ひし形の音符を。サティはカリグラフィのような字で、内容が悲惨な割にはしゃれ気を挟み込んだ手紙を書き、ベルリオーズはあの情熱的な交響曲の作者にしては読みやすいおとなしい字です。ポンキエッリの合作オペラは彼がわずか17才のときの作品です。音楽がいったいどんな評価を受けたかは本文を御読みください。この消失したと思われていたポンキエッリの自筆譜、パリの個人所蔵と思われていた自筆譜（ロシーニ）、ペッリーニのノルマの第一稿など、本国イタリアの研究者たちが歯軋りしそうな資料群です。

当館の貴重書は総数、14,860点。このなかからたった30点を選び出すのは大変でした。結局、一点しかないもの、古いものを中心に、他の図書館が持っていない資料を選び出しました。執筆はその分野の第一人者をお願いしました。難解なラテン語の理論書を読まれた方（おそらく世界で初めての紹介です）、校正のぎりぎりまで最新の研究成果を盛り込んで、編集者にうれしい悲鳴を上げさせた方、何回も当館に足を運んで資料に当たられた方、フランスやイタリアの図書館を探索して原稿にふくらみをもたせてくださった方々など、この冊子には最新の研究成果が詰まっています。これが貴重書に対する皆さんの興味を引くきっかけになれば幸いです。



※ 当館での請求記号はJ110-622です。また、参考図書室内でも閲覧できます。 ※ 頒布はいたしません。

ドイツの一都市ドルトムントで学んでいた時のことである。ある初夏の午後、大学の図書館で数冊の書物を借りて、自転車に住まいの近くまで帰ってきたところ、食器が割れるような騒々しい音が聞こえてきた。どうしたのだろうかと思いつきながら、すぐそばでボールを蹴って遊んでいた女の子に尋ねてみた。「私のおばちゃんか、あした結婚式を挙げるの」。こんな答えが返ってきた。それを聞いて、以前どこかで読んだドイツの風習について思い出した。かの地には、「陶器の破片が幸福をもたらす」という言い伝えがあり、結婚式の前日に親族や親しい友人が集まって、それまで使っていたお皿やカップを玄関の石畳に叩きつけて割り、新郎新婦の門出を祝うというのである。あらためて、日本との違いを興味深く感じた。

たまに卒業生の結婚披露宴のスピーチを頼まれることがある。その人の学生時代のことを思いうかべながら祝辞を準備する。もちろん、「割り」とか「裂く」という言葉を使わないようにする。祝いの席のマナーであろう。

しかし考えてみれば、どちらの国の風習も、二人の幸せを願うという点では共通である。ただ、ドイツの風習は、われわれにとつて初めは奇異なものに映るのである。

世界がインターネットで瞬時に結ばれ、様々な国の人々の交流が密になる時代にあつて、こうした相違を感じることはますます多くなることであろう。そのような中で、自分たちの尺度や常識だけがすべてではないことを自覚し、異なる風習をその背景にある文化や歴史をも考慮しながら理解しようとするのは、一層重要になることだろう。私たちが勉強を続けるにあたって、一つの大切な課題はここにあると思う。音楽を深く学んでいこうとされるあなたは、そのことにすでに気づいているに違いない。

## Parlandoのあゆみ

ばるらんど

その5

## ガクフ がくふ 楽譜……いろいろ

当館所蔵の楽譜に焦点を当てたシリーズです。135号（1986年9月発行）から174号（1992年1月発行）にかけて21回掲載され、以後「楽譜ランド」に引き継がれました。

- 1 不思議なガクフ (135)  
図形楽譜。
- 2 改訂 字解付イタリア古典歌曲撰集 (137)  
この記事で紹介した資料は2007年6月現在、未所蔵です。ご了承下さい。
- 3 子どもの創作 ピアノとともに (138)  
ある音楽教室で3歳から12歳のこどもが創作したピアノ作品。
- 4 持っているだけで楽しい楽譜 (143)  
『不思議の国のアリス』『スノーマン』にインスピレーションを得たピアノ作品。
- 5 「何か良い楽譜ないかしら？」(144)  
合唱曲集『カワイ・リーダーシャツツ』。
- 6 エリック・サティ ピアノ全集 (146)
- 7 [アレンジされた作品] (147)  
あるメロディを有名作曲家の作風に似せて編曲したピアノ楽譜。
- 8 Fis dur それとも Ges dur: 「ねこふんじやった」の楽譜 (149)
- 9 Bastienのピアノ教本 (156)  
韓国版バスティン・ピアノ教本。この記事で紹介した資料群は2007年6月現在OPACで検索できません。請求記号はバインダーで確認して下さい。
- 10 F. Deliusの全集楽譜 (157)  
この記事で紹介した資料群は2007年6月現在OPACで検索できません。請求記号はバインダーで確認して下さい。
- 11 Shchedrinのカードはなぜ水色? (158)  
ロシア人作曲家のスペルについて。
- 12 秋田のうたと音楽家 (159)  
秋田県出身の音楽家の作品を集めた声楽の楽譜。
- 13 Russian symphonic music (160)  
ロシアの交響作品を集めたシリーズ。
- 14 ... といえば (161)  
祝祭日、祝典等で歌われる歌。
- 15 「君が代」は (162)  
国歌集。
- 16 日本わらべ歌全集 (163)  
県別、27巻の全集。
- 17 ウィーン、わが夢の都 (164)  
日本語に訳された歌詞がついている楽譜。
- 18 「♪は蛙の子は誰の子? (165)  
『リパブリック讃歌』の伴奏付合唱譜。
- 19 デイズニー・ソングブック (166)
- 20 ガーランドって知ってますか? (167)  
出版社、ガーランド(Garland)から発行されている楽譜。
- 21 最近の日本のはやりうたの探し方 (174)

\* かつこ内は掲載された号数です。

\* 現行OPACの稼動前に掲載された記事です。現在の資料検索方法とは合致しない内容が一部含まれています。

\* 記事の内容を読みたい場合は、請求記号P1154と希望の号数を書いて、図書館カウンターで請求して下さい。

### 外部利用登録者数

		2006年度	2005年度
長期登録 1,049人	卒業生	921人	944人
	卒業生以外	128人	141人
当日利用 1,206人	卒業生	86人	90人
	卒業生以外	1,120人	1,292人
当日利用はのべ人数			
TAC利用登録者数		80人	98人
ICU：30 武蔵野美大：21 東経大：11 津田塾：18			

### 相互協力件数

	2006年度引受件数	2006年度依頼件数
1. 閲覧願利用者	339	3
2. 文献複写	320	98
3. 参考調査（文書）	354	12
4. 参考調査（電話）	14	—
5. 相互貸借（ILL）	139	24
6. 附属関係（中・高） （小学校）	206 40	— —

### TLL（TAC相互貸借）

#### ■ 貸出数

国際基督教大学へ	120
武蔵野美術大学へ	25
東京経大学へ	7
津田塾大学へ	63
合計	215

#### ■ 拝受（借受）数

国際基督教大学から	33
武蔵野美術大学から	12
東京経大学から	24
津田塾大学から	35
合計	104

### 学内ガイダンス実施状況

月 日	時間	クラス名(教員名)	人数	会場
5/15(月)	10:40~12:10	音楽教育4年(遠山)	6名	自由閲覧室⇒情報端末
5/19(金)	13:00~14:30	音楽教育4年(山口)	16名	自由閲覧室⇒情報端末
6/12(月)	10:40~12:10	リトミック4年(中館)	4名	自由閲覧室⇒情報端末
6/13(火)	9:00~10:30	音楽教育4年(阪上)	2名	自由閲覧室⇒情報端末
6/23(金)	13:00~14:30	音楽教育3年(田中)	14名	自由閲覧室⇒情報端末
6/27(火)	14:40~16:10	幼児教育4年(古川)	7名	自由閲覧室⇒情報端末
7/13(木)	9:00~10:30	リトミック4年(馬淵)	5名	自由閲覧室⇒情報端末
9/20(水)	14:40~15:20	室内楽2~4年(友利)	20名	インターネット室
9/21(木)	13:00~14:30	音楽文化デザイン1~2年(神戸)	10名	インターネット室
9/28(木)	14:40~16:10	大学院1年器楽(今井)	12名	インターネット室⇒情報端末
10/10(火)	10:40~12:10	専門ゼミ113年(遠山)	8名	自由閲覧室⇒情報端末
10/18(水)	16:20~17:50	幼児教育3年(古川)	11名	インターネット室
10/31(火)	10:40~12:10	専門ゼミ113年(阪上)	5名	自由閲覧室⇒情報端末
11/27(月)	13:30~14:30	音楽文化デザイン1年(大久保)	3名	参考図書室(情報端末)

### 展示テーマの一覧

展示期間	展示タイトル	企画者
2006年4月4日~5月13日	先達（せんだつ）を聴く～明治から現代までの日本人による歌曲・器楽作品をたどって～ 2006年度基礎ゼミ・レクチャーコンサート参考資料展 ピアノ・歌曲・器楽コンサート	西阪多恵子（館員）
2006年5月15日~6月17日	ウォルト・ディズニー ～アニメーションと音楽の世界～	布施美恵子（音楽学学科4年）
2006年6月19日~8月4日	夏の朝の夢 ～マーラー：交響曲第3番～	三宅巖（館員）
2006年9月7日~10月14日	楽譜あ・ら・か・る・と	高田涼子（館員）
2006年10月16日~11月25日	フラメンコ～歴史と、現在のその姿～	音楽研究専修（学部学生）
2006年11月27日~12月22日	《レオノーレ》から《フィデリオ》へ ―ペートーヴェンとオペラ―	音楽研究所 ペートーヴェン部門
2007年1月9日~1月31日	《希望と栄光の国》～エドワード・エルガー生誕150年～ Edward Elgar "Land of Hope and Glory"	三宅巖（館員）
2007年2月5日~3月16日	絵画と音楽	高田涼子（館員）

### 開閉館日数

通常開館：8:50~19:00	134
開 館：8:50~18:00	26
開 館：8:50~16:40	36
開 館：土曜日	38
計	234

閉 館	43
休 館	22
日曜・祝日	67

※閉館時は大学院生・教職員の利用可

### 入館者数

	入館者数	学内 (学生・教職員など)	卒業生	外部
2006年4月	15,761	14,946	666	149
2006年5月	16,146	15,256	712	178
2006年6月	16,149	15,226	745	178
2006年7月	15,663	14,576	833	254
2006年8月	1,524	1,077	207	240
2006年9月	15,235	14,103	913	219
2006年10月	16,148	15,090	841	217
2006年11月	14,753	13,923	666	164
2006年12月	11,944	11,227	560	157
2007年1月	6,794	6,018	602	174
2007年2月	3,418	2,996	327	95
2007年3月	1,832	1,444	284	104
	135,367	125,882	7,356	2,129

※入館ゲートを通じた利用者数

※カードを発行していない初回利用者の通過は含まれていません。

※事務用カードでの通過は除外しています。

# LIBRARY DATA・2006

2007/3/31現在

## 図書館所蔵資料数

図書	楽譜	雑誌	紀要	マイクロ	AV資料					
					CD	ビデオ	LD	DVD	LP	
137,394	130,904	2,591	1,396	10,627	76,230	58,725	2,978	3,826	1,650	6,395

## 資料受入数

### ■ 図 書

	和書	洋書
一般	602	21
音楽	1,092	906
合計	2,621	

### ■ 逐次刊行物 (タイトル数)

雑誌	和雑誌	洋雑誌
一般	251	29
音楽	301	401
合計	982	

紀要	453
----	-----

### ■ 楽 譜

全集	91
ミニチュア	445
声楽	813
鍵盤楽器	496
アンサンブル	231
リブレット	7
合計	2,083

### ■ マイクロ

フィッシュ	18
-------	----

### ■ AV資料 (枚数)

CD	1,578
DVD	433
LD	21
VHS	11
合計	2,043

### ■ 貴重資料

楽譜	13
----	----

## 資料別・利用者別貸出件数

利用者区分	利用者数	図 書	楽 譜	雑誌/紀要	マイクロ	A V資料	総 計
学 部 生	2,168	22,711	56,901	1,155	56	91,048	171,871
大 学 院 生	57	3,237	4,734	815	22	6,109	14,917
別 科	10	160	169	0	0	262	591
そ の 他 学 生	58	391	1,034	52	0	1,427	2,904
小 計	2,293	26,499	62,838	2,022	78	98,846	190,283
教 員 ( 正 規 )	362	3,372	6,214	611	27	8,562	18,786
教 員 ( 正 規 外 )	241	644	535	116	14	1,278	2,587
授 業 補 助	33	90	538	9	0	929	1,566
職 員 ( 正 規 )	128	1,166	1,128	176	25	1,184	3,679
職 員 ( 正 規 外 )	72	58	43	21	0	78	200
小 計	836	5,330	8,458	933	66	12,031	26,818
卒 業 生 ( 長 期 )	921	4,291	16,095	803	19	9,865	31,073
卒 業 生 ( 当 日 ) *	86	68	252	2	0	110	432
外 部 ( 長 期 )	128	2,846	3,416	612	18	1,162	8,054
外 部 ( 当 日 ) *	1,120	1,476	5,685	1,132	87	1,257	9,637
小 計	2,255	8,681	25,448	2,549	124	12,394	49,196
T A C	80	228	234	111	4	48	625
総 計	5,464	40,738	96,978	5,615	272	123,319	266,922

\*当日利用はのべ人数

### ●学部学生年間平均貸出件数

79件 (AV42件、楽譜26件、図書10件)

### ●大学院生年間平均貸出件数

262件 (AV107件、楽譜83件、図書57件、雑誌/紀要14件)

### ●学外利用者 (卒業生、外部、TAC) 年間平均貸出件数

21件 (AV5件、楽譜11件、図書4件、雑誌/紀要1件)

2006年度の貸出総計は266,922件で、前年度より39,132件減少しました。学部学生定員を減らしているため、学部生数が156名減っていることが要因として考えられます。

学部学生の2006年度年間平均貸出件数は79件、2005年度より11件減少しました。又、大学院生貸出件数は262件、前年度比6件の減少です。一方、学外利用者 (卒業生、外部、TAC) 年間平均貸出件数は21件と、前年度より1件の増加となっています。

紀要	順位	タイトル	利用回数	請求記号
	1	国立音楽大学研究紀要	72	PB102
	2	国立音楽大学音楽教育学科音楽教育専攻音楽教育専修・音楽教育学研究・卒業研究レポート 音楽教育法・演習レポート 音楽療法演習・卒業論文	71	PB102G
	3	国立音楽大学音楽研究所年報	51	PB102F
	4	国立音楽大学大学院研究年報・音楽研究	29	PB102D
	5	宮崎大学教育学部紀要 芸術・保健体育・家政・技術	27	PB043
CD	順位	タイトル	利用回数	請求記号
	1	Eterno amore e fe [録音資料] / Nobuko Takahashi. - Victor, 2001.	130	XD46333他
	2	36 arie di stille antico [録音資料] / Donaudy. - Fontec, [2000].	110	XD44822他
	3	Le nozze di Figaro [録音資料] / Da Ponte-Mozart. - EMI, 1987.	105	XD3732他
	4	Musiche da camera dei 4 grandi italiani [録音資料] / Rossini ... [et al.]. - Adam, [1992].	104	XD47597他
	5	Le nozze di Figaro [録音資料] / Wolfgang Amadeus Mozart. - Philips, p1986.	103	XD1433他
LD	順位	タイトル	利用回数	請求記号
	1	Così fan tutte [映像資料] / Wolfgang Amadeus Mozart. - Manufactured and distributed by ANF, c1989.	158	VD237他
	2	Le nozze di Figaro [映像資料] / W.A. Mozart. - Manufactured & distributed by Nihon Monitor, 1992.	152	VD1487他
	3	Così fan tutte [映像資料] / Wolfgang Amadeus Mozart. - Polydor, 1994, c1992.	117	VD1902
	4	ボエム [映像資料] / Giacomo Puccini. - 発売元/クラウンレコード, 1990, c1989.	94	VD450他
	5	Idomeneo [映像資料] / Wolfgang Amadeus Mozart. - Pioneer LDC, c1982.	92	VD848
DVD	順位	タイトル	利用回数	請求記号
	1	Così fan tutte [映像資料] / Wolfgang Amadeus Mozart. - TDKコア (発売) : キングレコード (販売), c2003.	111	VE573
	2	Le nozze di Figaro [映像資料] / W.A. Mozart. - パイオニアLDC, 2002, c1973.	109	VE277
	3	Le nozze [di] Figaro [映像資料] / Wolfgang Amadeus Mozart. - Universal Music, 2000.	93	VE42
	4	Così fan tutte [映像資料] / [Wolfgang Amadeus Mozart]. - Kinowelt Home Entertainment, c2000.	92	VE109
	4	Le nozze di Figaro [映像資料] / W.A. Mozart. - ワーナーヴィジョン・ジャパン, [2002].	92	VE257
ビデオ	順位	タイトル	利用回数	請求記号
	1	Cats [映像資料]. - 発売・販売/ポリグラム, 1998.	107	VB2586
	2	フィガロの結婚 [映像資料] / Mozart. - CBS Sony, [198-].	73	VB454
	3	フィガロの結婚 [映像資料] / [ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト]. - CIC・ビクタービデオ (発売元), c1976.	64	VB322
	4	昭和61年度国立音楽大学大学院オペラ公演 モーツァルト「コシ・ファン・トゥッテ」86.10.18	47	VB829
	5	平成15年度国立音楽大学大学院オペラ公演D.チマローザ「秘密の結婚」03.10.11	34	VB3088
オンラインデータベース	順位	データベース名	利用回数	
	1	grovemusic.jp日本語版 (『ニューグローヴ世界音楽大事典』)	502	
	2	CiNii (NII論文情報ナビゲータ) 【GeNii】	332	
	3	新編音楽中辞典	161	
	4	ネットで百科	118	
	5	RILM Abstracts of Music Literature 【EBSCOhost】	99	
	6	grovemusic.jp英語版 ("The New Grove Dictionary of Music and Musicians")	98	
	7	WebCat 【GeNii】	88	
	8	MAGAZINEPLUS(NICHIGAI/WEBサービス)	86	
	9	聞蔵 (きくぞう) II ビジュアルfor Libraries 朝日新聞記事索引	69	
9	人物レファレンス事典 日本/外国 【e-レファレンス/ツール】	69		

### 新着雑誌一覧

#### ■ 和雑誌 計12誌

P5469	人権教育・啓発白書 (財務省印刷局)
P5470	ブックページ = Book page (ブックページ刊行会)
P5471	びあシネマクラブ (びあ)
P5473	音楽サラダ (パッチワーク通信社)
P5475	全国大学一覧 (文部省大学学術局大学課)
P5476	全国短期大学高等専門学校一覧 (文教協会)
P5477	船橋音楽療法研究室年報 = The journal of Funabashi Music Therapy Clinic (船橋音楽療法研究室)
P5479	音楽教育ヴァン (教育芸術社)
P5480	東京ブックマップ: 東京23区書店・図書館徹底ガイド (書籍情報社)
P5481	Guitar dream = ギタードリーム (ホマドリーム)
P5482	タクトゥス = Tactus (トスカニーニ・オペラ・アソシエーションTOA)
P5483	能と狂言 (能楽学会)

#### ■ 洋雑誌 計3誌

P5472	Mozartwoche Magazin (Internationale Stiftung Mozarteum)
P5474	Nordisk Tidsskrift for Musikterapi = Nordic journal of music therapy (Hogskuleutdanninga pa Sandane)
P5478	Gesamtverzeichnis osterreichischer Dissertationen (Notring der Wissenschaftlichen Verbande Osterreichs)

## 資料別貸出回数ベスト

今年度から、楽譜についてはジャンル別（声楽、ミニチュア、鍵盤、アンサンブル）で掲載することになりました。さらに雑誌、紀要、オンラインデータベースも追加しました。

図書	順位	タイトル	利用回数	請求記号
	1	コシ・ファン・トゥッテ / モーツァルト. - 音楽之友社, 1988.	41	C44-714他
	2	シューマン / ラン・ウォーカー著. - 東京音楽社, 1986.	38	C22-529他
	2	リズムと音楽と教育 / エミール・ジャック=ダルクローズ著. - 全音楽譜出版社, 2003.	38	J97-854他
	4	演奏家のための和声分析と演奏解釈. シューマン / アミ・ドメル=ディエニー著. - シンフォニア, 1982.	37	C35-101他
5	フィガロの結婚 / モーツァルト. - 音楽之友社, 1987.	34	C44-007他	
楽譜 (ミニチュア)	順位	タイトル	利用回数	請求記号
	1	L'elisir d'amore [印刷楽譜] / Gaetano Donizetti. - Partitura. - Ricordi, 2001 printing.	27	E9-243他
	2	The young person's guide to the orchestra [印刷楽譜] / Benjamin Britten. - Boosey & Hawkes, c1947.	26	E1-877他
	3	Rapsodie sur un theme de Paganini [印刷楽譜] / S. Rachmaninoff.. - Charles Foley, c1934.	25	E6-112他
	4	Die sieben grossen Opern. Le nozze di Figaro [印刷楽譜] / W.A. Mozart. - Barenreiter, c2005.	24	E14-530
5	Die sieben grossen Opern. Don Giovanni [印刷楽譜] / W.A. Mozart. - Barenreiter, c2005.	23	E14-531	
楽譜 (声楽)	順位	タイトル	利用回数	請求記号
	1	Composizioni da camera [印刷楽譜] / Bellini. - 中声用. - Zen-on Music, [1982], c1971.	96	F14-065他
	2	独唱名曲100選 [印刷楽譜] / 音楽之友社編. - 音楽之友社, 1986.	86	F14-167他
	3	Arie antiche italiane. 2 [印刷楽譜]. - 中声用. - Zen-On Music, [1986?].	85	F14-063他
	4	Don Giovanni [印刷楽譜] / W.A. Mozart. - C.F. Peters, [19--?].	81	F0-705他
5	日本歌曲集. 1 [印刷楽譜]. - 全音楽譜出版社, c1970.	80	F9-130他	
楽譜 (鍵盤)	順位	タイトル	利用回数	請求記号
	1	Die sechs franzosichen Suiten [印刷楽譜] / Johann Sebastian Bach. - Zen-on Music, 1990.	35	G22-799他
	2	Mikrokosmos. Vol. VI [印刷楽譜] / Bela Bartok.. - Winthrop Rogers ed.. - Boosey & Hawkes, c1940.	33	G2-423他
	2	ノクターン集 [印刷楽譜] / Frederic Chopin. - Wiener Urtext Edition : 1980.	33	G30-070他
	4	12 Etudes op. 25 [印刷楽譜] / Chopin. - Editions Salabert : Zen-On Music, 1997.	32	G27-554
5	スケールメイト [印刷楽譜]. - 国立音楽大学, 1995.	31	G26-623他	
楽譜 (アンサンブル)	順位	タイトル	利用回数	請求記号
	1	Don Giovanni [印刷楽譜] / W.A. Mozart. - C.F. Peters, [1941].	32	H12-989他
	2	Lieder. Vol. 4 [印刷楽譜] / Richard Strauss. - Gesamtausg.. - Boosey & Hawkes, 1965.	27	H17-407
	3	Die Hochzeit des Figaro [印刷楽譜] / W.A. Mozart. - C.F. Peters, [1941].	26	H12-986
	3	モーツァルト・オペラ名曲選 [印刷楽譜]. - Edition Zen-On, 1989.	26	H41-170
5	Don Giovanni [印刷楽譜] / Wolfgang Amadeus Mozart. - Partitura. - Konemann Music Budapest, c1995.	23	H42-219	
楽譜 (全集・叢書)	順位	タイトル	利用回数	請求記号
	1	Toccaten, Suiten, Lamenti / Johann Jacob Froberger (Documenta musicologica. 2. Reihe ; 31)	22	A12-128
	2	Nuove musiche e nuova maniera di scriverle / Giulio Caccini (Recent researches in the music of the baroque era ; 28)	21	A5-938
	3	Le nuove musiche / Giulio Caccini (Recent researches in the music of the baroque era ; 9)	20	A5-920
	4	Klavierwerke II / Johann Jakob Froberger (Denkmäler der Tonkunst in Österreich ; Jahrg. 6/2, Bd. 13)	17	A4-320
	5	Lieder. Vol. II / Richard Strauss	16	A1-937他
5	Piano solos. Vol. 3 / Sergei Prokofiev	16	A2-999	
5	Le nvove mvsiche ; Nvove mvsiche e nvova maniera di scriverle / Givlio Caccini (Archivum musicum : la cantata barocca ; 13)	16	A9-008	
リフレット	順位	タイトル	利用回数	請求記号
	1	フィガロの結婚 / ボーマルシェ原作. - 音楽之友社, 1963.	36	X0-391他
	2	コシ・ファン・トゥッテ / 台本 ロレンツォ・ダ・ポンテ. - 音楽之友社, 1970.	34	X0-411他
	3	椿姫 / 台本 ビアーヴェ. - 音楽之友社, 1966.	23	X0-397他
	4	フィガロの結婚 / 台本 ロレンツォ・ダ・ポンテ. - アウラ・マーニャ, 1987.	22	X0-725
5	フィガロの結婚 / モーツァルト. - 音楽之友社, 2001.	21	X0-885他	
雑誌	順位	タイトル	利用回数	請求記号
	1	ムジカノーヴァ = Musicanova	262	P0632
	2	教育音楽. 中学版	198	P0626
	3	ミュージック・マガジン	185	P0763
	4	音楽の友	177	P0649
5	バンドジャーナル	164	P0604	

## シヨパン風アレンジで弾くディズニー

今井 このみ

音楽教育学科2年

春休みに入り、なにげなく曲を探していたとき、ふと目に止まったのが『シヨパン風アレンジで弾くディズニー』という文字でした。シヨパンもディズニーも好きな私は、迷わずその楽譜を借りました。家に帰るとすぐ1曲目の《ミッキーマウス・マーチ》を弾き、気づけば最後の曲まで弾き終えていました。つかえつつかえ、ゆつくりでしたが、「次はどんなシヨパンが出てくるんだろう？」とわくわくしながら夢中で弾いていました。こんな気持ちになってピアノを弾いたのは久しぶりで、この楽譜をみんなに自慢したくて仕方ありませんでした。

この楽譜は「もしもシヨパンがディズニーの曲を弾いたなら……」というテーマで、4人の音楽家がシヨパンのピアノリズムに敬意を表しつつ、プレリユード・ワルツ・ノクターン等の技法に乗せてアレンジしたものです。

1曲目の《ミッキーマウス・マーチ》をはじめ、《ララルー》、《星に願いを》の3曲を編曲した長島寛行は、なるべくシヨパン的に、でもなるべく特定の曲の真似をせず、ということ念頭に音符を書いています。

《バラード3番》をもとに《夢はひそかに》

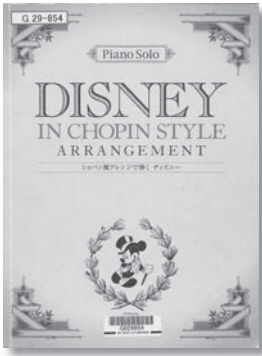
シンデレラ》を編曲した秋山さやかは、他に《ワルツ第2番》をもとにした《チム・チム・チェリー》、《告別》をもとにした《くまのプーさん》を編曲しています。

《雨だれ》風に《美女と野獣》をアレンジした秋敦子は、《軍隊ポロネーズ》風《不思議の国のアリス》と《バラード第1番》風《ホール・ニュー・ワールド》を手がけています。

《アンダー・ザ・シー》を意外性を狙って練習曲風に《黒鍵のエチュード》っぽく仕上げたのは石川芳です。

どれも楽しくてファンタスティックで、10曲ともオススメです。ディズニーは誰でもなじみがあるので、シヨパンを知らない友達や小さい子どもの前で弾いても、ウケること間違いなし!!シヨパンを知っているなら、なおさらでしょう。しかもシヨパン風だけあって、どの曲も弾きごたえがあります。ちよつとしたコンサートや発表会で弾いてもいいでしょう。

ほら、弾きたくなってきたでしょ?今すぐ受付へ!!



©Disney

請求記号●G29-854  
『シヨパン風アレンジで弾くディズニー：ピアノソロ』(ヤマハ音楽振興会、ヤマハミュージックメディア 2003)

●いまい いつも食欲旺盛な私、そのそのダイエットと  
思いつつ、お菓子を手に……。これを機会に食べる時間を練習に  
まわそうかな♪

## 源氏物語と雅楽の調べ

山栄理子

音楽研究専修4年

平安時代に紫式部が書いた『源氏物語』は、高貴な美男子光源氏の恋愛物語……。光源氏と子孫の時代を描いた古典文学の最高傑作である。物語には音楽の要素が多い。「宿木」巻で源氏の孫匂宮が、すねている中君を琵琶でなくさめる。中君は箏の琴をかき鳴らし、匂宮は催馬楽を歌って仲直りする。当時の貴族には、和歌と漢籍(中国の書物)と雅楽(管弦・舞楽)が、政でも恋愛でも必須の教養だった。それを生かした表現である。物語の中で音楽が恋愛の機微を表すとは、なんとも洒落ではないか。

もつと心にせまる描写がある。源氏が18歳のとき管弦にあわせて舞楽《青海波》を親友と舞う、という有名な場面が「紅葉賀」巻にある。源氏の父の桐壺帝は、宮廷の外の催しには列席を許されない女性達、殊更、身重の藤壺のためにリハーサルを本番さながらに行った。源氏は幼い頃に母を亡くして遠縁にあたる藤壺に可愛がられて育ち、互いに想いを寄せるようになっていた。しかし源氏にとって藤壺は父の寵愛をうける妻、道ならぬ恋以上に帝への反逆、罪な恋だ。実は藤壺が宿した子は源氏との子で後に帝になる。一生背負う秘め事である。罪に悩む藤壺に拒絶された源氏は、藤壺に見てもら

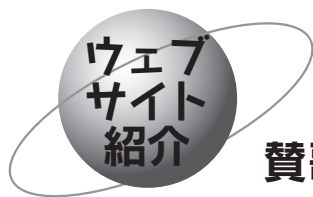
悩む藤壺に拒絶された源氏は、藤壺に見てもら

●やま えりこ 国文学の大学院で雑誌に論文掲載、法律事務  
務兼弁護士会PC講座の企画運営や本出版、作詞して歌うと  
3ヶ月で音大に入学、CDを創って、次は何しようかなあ☆



請求記号●VB620/(1);  
VB621/(2);VB622/(3);  
VB623/(4);VB624/(5)  
『源氏物語の世界』  
(中央公論社 1986)

える希少なチャンスとばかり一生懸命に舞った。観衆は感嘆する。つまりイケメン二人に「さやあ、かつこいい♪」である。眩しいほどの源氏の魅力に藤壺はお褒めの和歌を返し、源氏は喜びをかみしめるのだった。雅楽を通して公の場で密かな想いを伝えようとしたという、源氏と藤壺にしかわからないスリルや切なさに、読み手までも身もだえしてしまいたい。ビデオ『源氏物語の世界』は、主な女性「六条御息所」「紫の上」「大君」に焦点をあてた3巻と資料編2巻からなる。第一線の研究者や演奏家の手になるもので、貴重な映像や絵巻がたくさんあり具体的に物語を想像できる。『青海波』の実演、「宿木」や『青海波』の源氏物語絵巻、大学で履修できる笙や箏や龍笛等の楽器解説や合奏、祭や加持袴や衣装や寝殿の映像等、平安時代の様子が鮮やかに蘇る。貴重で第一級品のビデオで平安時代をリアルに感じられたら、源氏と彼を取り巻く女性達のいろんな恋愛や生き様も、もつと身近に感じられると思う。音楽で交わす恋、現代の音大生にも通じることがきっとあるだろう。



## 米国議会図書館資料で知る 賛歌《アメイジング・グレイス》

<http://memory.loc.gov/cocoon/ihas/html/grace/grace-home.html>

世界で最も知られた音楽作品のひとつとも言われる、賛歌《アメイジング・グレイス》。2007年4月に、米国議会図書館（LC）のウェブサイト内に《アメイジング・グレイス》のサイトが立ち上げられました。

このサイトでは、LCの所蔵資料からその最初の印刷楽譜の画像を見たり、録音されたさまざまな演奏を実際に聴いたりしながら、《アメイジング・グレイス》の歴史をたどることができます。

もうひとつの注目点は、アラン・シャサノフとラモン・エロズアによって1930年代から2000年の間に収集された、様々な演奏者、演奏グループによる3000点を越す録音資料コレクションのデータベースです。2004年にLCに寄贈されたこのコレクションは、単一の音楽作品の録音資料コレクションとしては世界最大で、ギネスブックにも登録されているそうです。LCの録音資料レファレンスセンターに行けば全ての資料を聴くことができるそうですが、わざわざ渡米しなくても、一部の資料についてはコンピュータを通して画像を見たり、デジタル化された音そのものを聴くこともできます（プレスリーの演奏があつてびっくり!）。

また、簡単なリンク集や参考文献表、ディスコグラフィなどもあります。

なお、このサイトの入り口が置かれているページ“Music, Theater & dance : a performing arts digital library (<http://www.loc.gov/rr/perform/ihas/lcp-home.html>)”からは、今回ご紹介したサイト以外にも、ラグタイムや愛国的な歌、映画で使われたジャズ音楽など、LCのコレクションをもとにしたアメリカのパフォーミング・アーツについてのサイトに入ることができます。英語のサイトではありますが、《アメイジング・グレイス》に興味のある方も、アメリカ合衆国の文化に興味のある方も、是非一度のぞいてみて下さい。

※参考資料：『「アメイジング・グレイス」物語』作詞者ジョン・ニュートンの自伝（請求記号●J110-188）

## がんばって教育実習

実習に行かれる方は、受付カウンターで「教育実習」と申し出てください。和図書・楽譜の貸出期間が2週間から4週間になります。返却日に少しゆとりがあるので、安心して利用できます。楽しい授業をつくってくださいね。

## 夏休み貸出が始まります

7月2日(月)から夏休み貸出が始まります。図書・楽譜が2カ月以上も借りられます。9月の返却は忘れないように。

## CDの貸出は

CDの夏休み貸出はおこないません。7月17日(火)から、CDの貸出は一泊二日貸出ではなくAV資料室内のみの利用となります。ご注意ください。

## 推薦図書を配布しました

5月14日(月)～18日(金)に古い推薦図書をはじめ、重複する雑誌・楽譜やCDなどを配布しました。

## 2階メインカウンター前に 消音対策のカーペットを 張りました

みなさんが歩く時の靴音がでるだけ響かないように、メインカウンター前の床をカーペットにしました。図書館では静かに過ごしましょう。

## CDソフトケースの 扱いについて

返却の際には幅の狭いポケットにCDを、幅の広いポケットにそれ以外の解説書を入れましょう。解説書を入れる時には数も確認しましょう。ソフトケースは軟らかいビニール製でCDに傷がつきやすくなっていますので、大切に扱ってください。皆さんの注意深い取り扱いをお願いします。

5月7日(月)～6月2日(土)

民謡編曲・同曲異題

企画●国立音楽大学附属図書館広報委員会

## テーマ展示 in ブラウジングルーム

6月4日(月)～6月30日(土)

現代ヴァイオリン演奏の父

ヨーゼフ・ヨアヒム(1831～1907) — 没後100年記念

企画●伊藤陽子(国立音楽大学附属図書館データベース開発部)

19世紀後半、ドイツ、イギリスを中心に、演奏家・作曲家・音楽教育者として活躍したヨアヒムの足跡を写真でたどり、今日の音楽文化への影響を探る。最晩年に録音されたヨアヒム自身の演奏(CD)、作曲作品(楽譜)も併せて展示する。

## ガイダンス

5月8日 宇佐美明子先生ゼミガイダンス(4年・幼児教育)

5月18日 小林緑先生クラスガイダンス(1年・音楽文化講読I)

5月21日 中館栄子先生ゼミガイダンス(4年・リトミック)

5月28日 遠山文吉先生ゼミガイダンス(4年・音楽文化デザイン)

## ゲスト

5月16日 八王子市立第四中学校の3年生16名

5月17日 本学附属小学校の6年生74名

6月4日 甲府湯田高等学校音楽科の1年生13名



# Library Calendar

6

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

7

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

8

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

9

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23/30	24	25	26	27	28	29

- ◆ 閉館
- ◆ 月～金 8:50～19:00 (書庫内資料の受付は 18:00 まで) ● A V 資料室 8:50～18:40 (受付は 18:00 まで)
- ◆ 土 8:50～16:40 (書庫内資料の受付は 12:00 まで) ● A V 資料室 8:50～12:00 (受付は 11:40 まで)
- ◆ ● 印 8:50～18:00 (書庫内資料の受付は 18:00 まで) ● A V 資料室 8:50～18:00 (受付は 17:40 まで)
- ◆ ◆ 印 8:50～16:40 (書庫内資料の受付は 16:30 まで) ● A V 資料室 8:50～16:30 (受付は 16:10 まで)
- ◆ □ は学内者のみ

Parlando・演劇・255号・June 11, 2007・演劇・「語りかけの文化」より意味の楽想記号による発行・国立音楽大学附属図書館編集担当・石川泰子・森岡倫子